

2025年1月30日

株式会社日本政策金融公庫

第223回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2024年10～12月期実績、2025年1～3月期見通し)

〔概況〕 信用保証利用企業の資金繰りは、横ばい。

～景況は、一部に弱い動きが見られるものの、持ち直しの動きが続いている～

- 【金融関連】○ 資金繰りD.I.は、▲10.9(▲10.5)と横ばいとなった。 ()は前期値
○ 借入難易感D.I.は、▲4.3(▲6.3)とマイナス幅がやや縮小した。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、やや減少した。
- 【保証利用】○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。
○ 来期(2025年1～3月)における保証利用要請D.I.は、0.6(▲0.6)とやや上昇した。
※ 保証利用要請D.I.・・・金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】○ 生産・売上D.I.は、▲1.8(▲2.7)と横ばいとなった。
○ 採算D.I.は、▲9.0(▲10.8)とマイナス幅がやや縮小した。

【特別調査】「経営環境において直面している課題について」

- 経営環境において直面している課題については、「人手不足、人件費上昇」が62.1%と最も多くなっている。
○ 業種別にみると、いずれの業種も前期と比べて、「人手不足、人件費上昇」が上昇し、「売上・受注の停滞、減少」が低下している。

＜調査の要領＞

調査時点	2024年12月中旬
調査方法	郵送またはWebによるアンケート調査
調査対象	9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 16,000企業を対象としており、 回答企業の約85%が従業員20人以下の小規模企業 となっています。
有効回答企業数	4,346企業(回答率 27.2%)

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険情報室 Tel: 03-3270-2384(担当: 城所、大羽、森田)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

きどころ

資料編につきましては[こちら](#)をご覧ください。

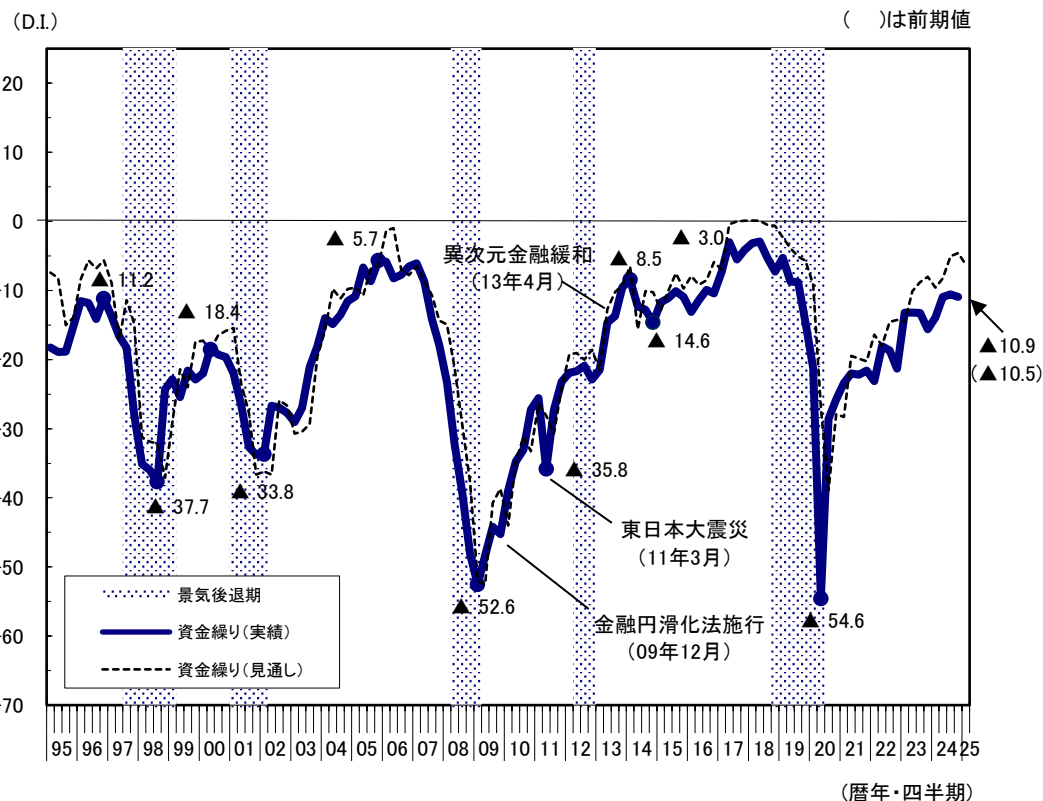
(1) 資金繰り

- ・資金繰りD.I.は、▲10.9と横ばいとなった。
来期の見通しについては、▲6.3となっている。

		2023/10-12	2024/1-3	4-6	7-9	10-12	2025/1-3
資金繰りD.I.	実績	▲15.6	▲13.9	▲10.9	▲10.5	▲10.9	
	見通し	▲8.0	▲9.6	▲8.3	▲5.0	▲4.6	▲6.3

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



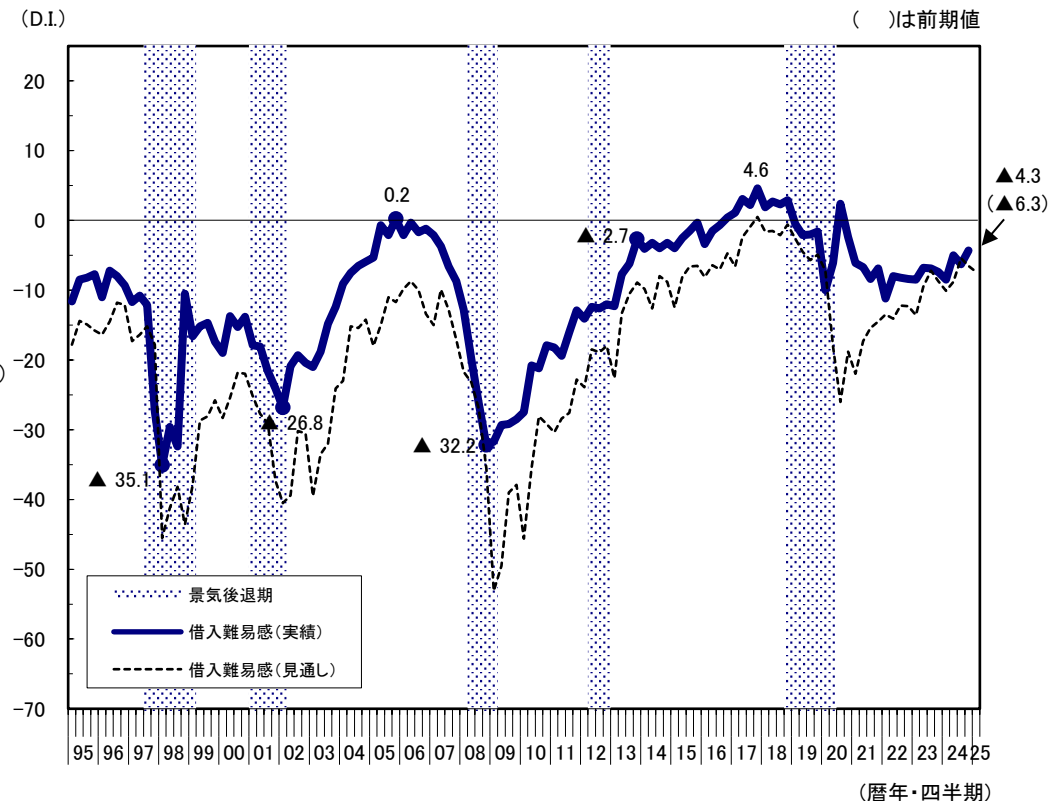
(2) 借入難易感

- ・借入難易感D.I.は、▲4.3とマイナス幅がやや縮小した。
来期の見通しについては、▲7.4となっている。

		2023/10-12	2024/1-3	4-6	7-9	10-12	2025/1-3
借入難易感D.I.	実績	▲7.4	▲8.5	▲5.0	▲6.3	▲4.3	
	見通し	▲8.7	▲10.1	▲8.8	▲5.4	▲6.5	▲7.4

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、やや減少した。

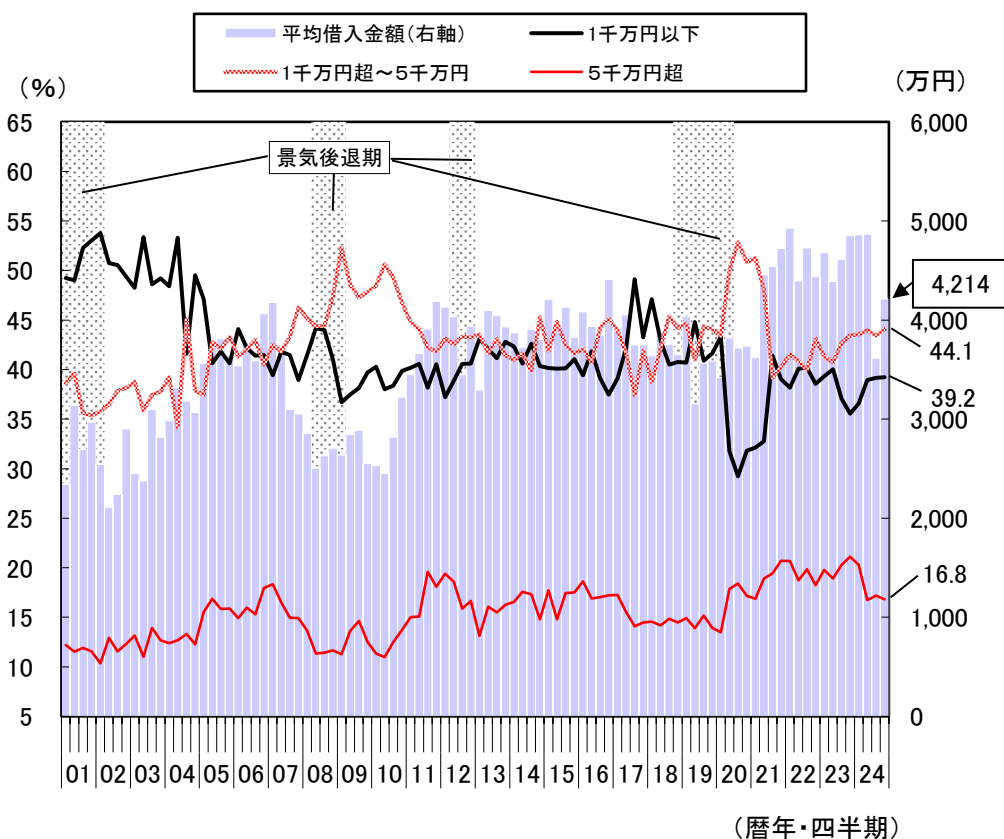
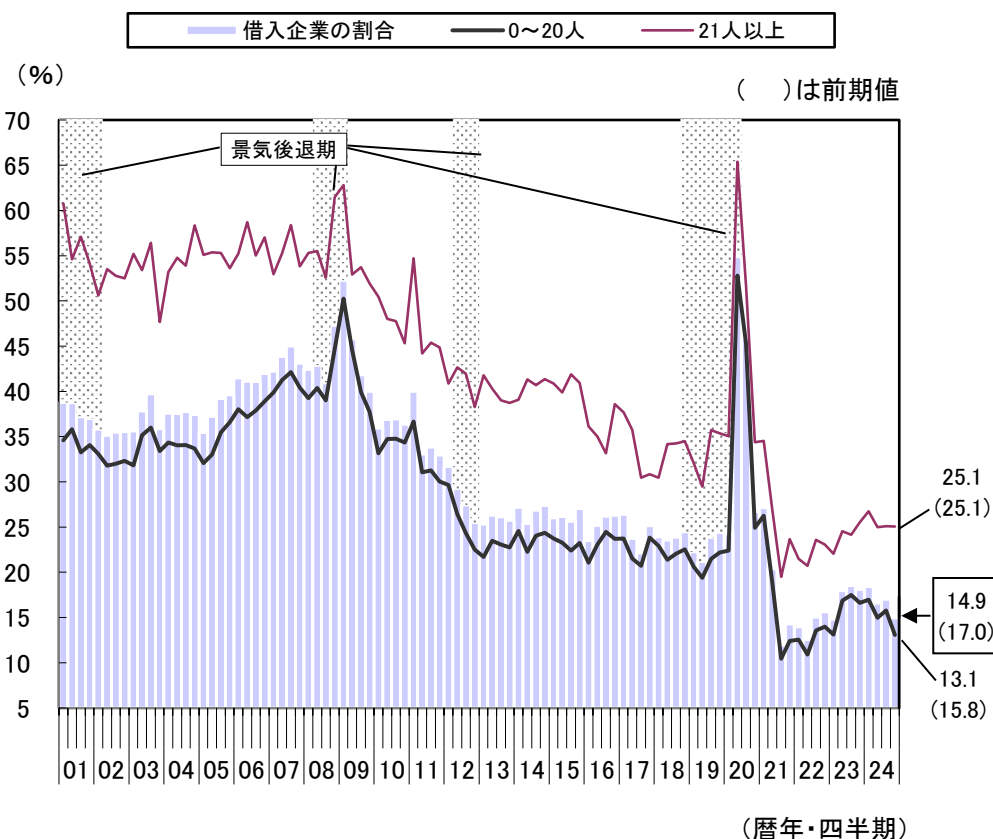
① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2023/10-12	2024/1-3	4-6	7-9	10-12
借入企業の割合	18.1	18.4	16.6	17.0	14.9
0-20人	16.6	17.0	15.0	15.8	13.1
21人以上	25.5	26.7	25.0	25.1	25.1

・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」、「1千万円超～5千万円」及び「5千万円超」の全ての区分で横ばいとなった。

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

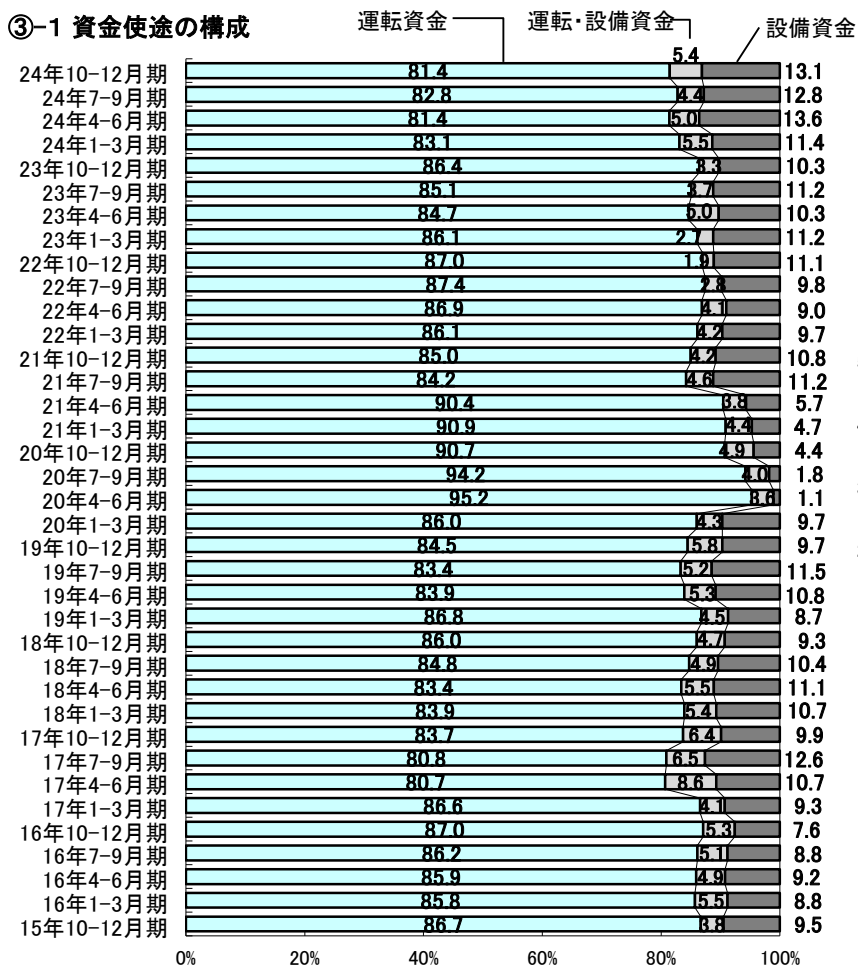
	2023/10-12	2024/1-3	4-6	7-9	10-12
1千万円以下	35.5	36.6	38.9	39.2	39.2
1千万円超～5千万円	43.4	43.5	44.0	43.4	44.1
5千万円超	21.1	20.3	16.8	17.2	16.8



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

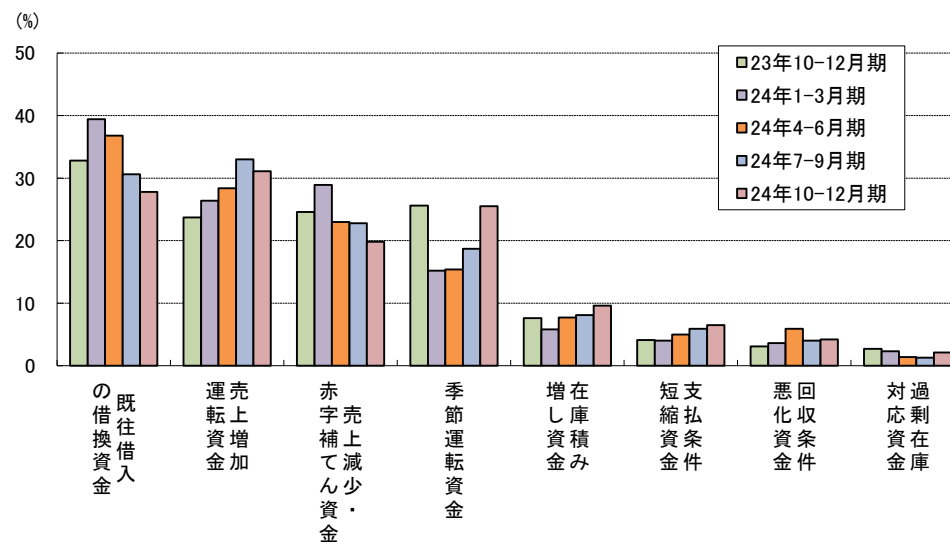
- ・資金使途の構成については、運転資金の割合がやや減少し、設備資金の割合は横ばいとなった。
- ・運転資金の内訳では、「売上増加運転資金」の割合がやや減少したものの、2期連続で最も高い割合となった。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳（原数値）

		既往借入 の借換資金	売上増加 運転資金	売上減少・ 赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み 増し資金	支払条件 短縮資金	回収条件 悪化資金	過剰在庫 対応資金
24年	10-12月期	27.8	31.1	19.8	25.5	9.6	6.5	4.2	2.1
	7-9月期	30.6	33.0	22.8	18.7	8.1	5.9	4.0	1.3
	4-6月期	36.8	28.4	23.0	15.4	7.7	5.0	5.9	1.4
	1-3月期	39.4	26.4	28.9	15.2	5.8	4.0	3.6	2.3
23年	10-12月期	32.8	23.7	24.6	25.6	7.6	4.1	3.1	2.7



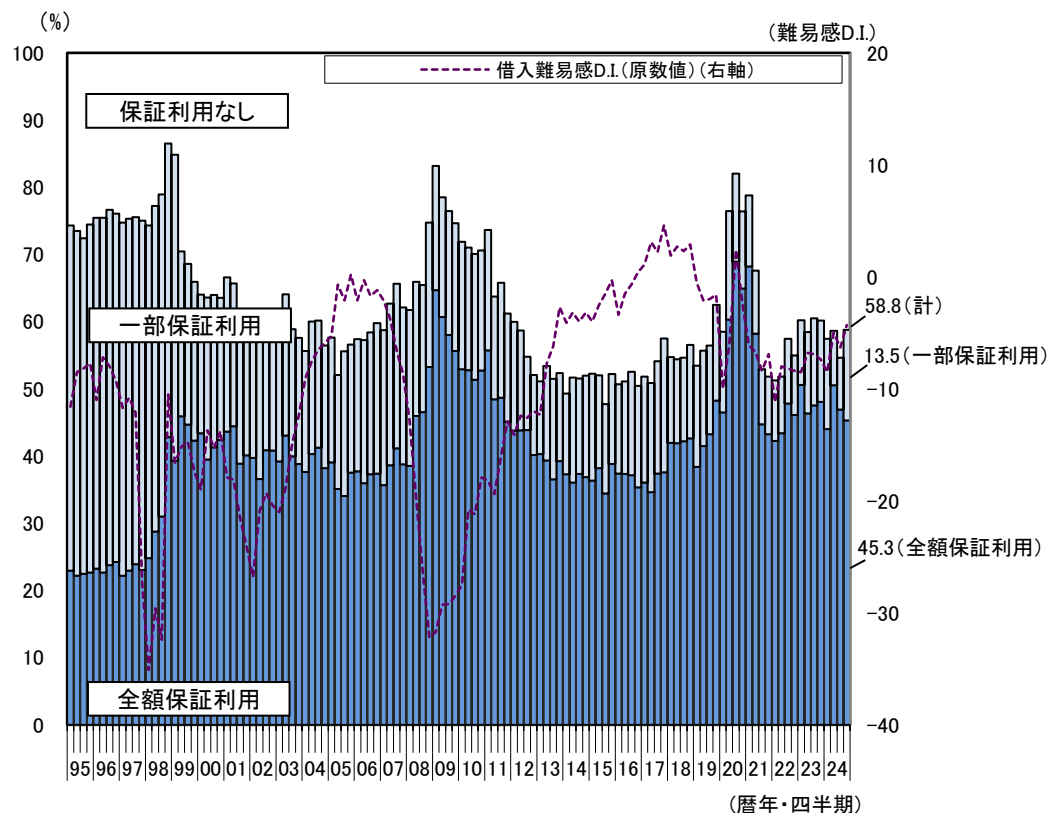
(注) 1.複数回答のため、合計は100%を超える。
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

- ・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。

	2023/10-12	2024/1-3	4-6	7-9	10-12
当期に保証を利用した企業の割合	60.2	57.4	58.6	54.6	58.8
全額利用	48.1	44.0	50.5	46.9	45.3
一部利用	12.1	13.4	8.1	7.7	13.5
当期に保証利用がない企業の割合	39.8	42.6	41.4	45.4	41.2

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したもの。

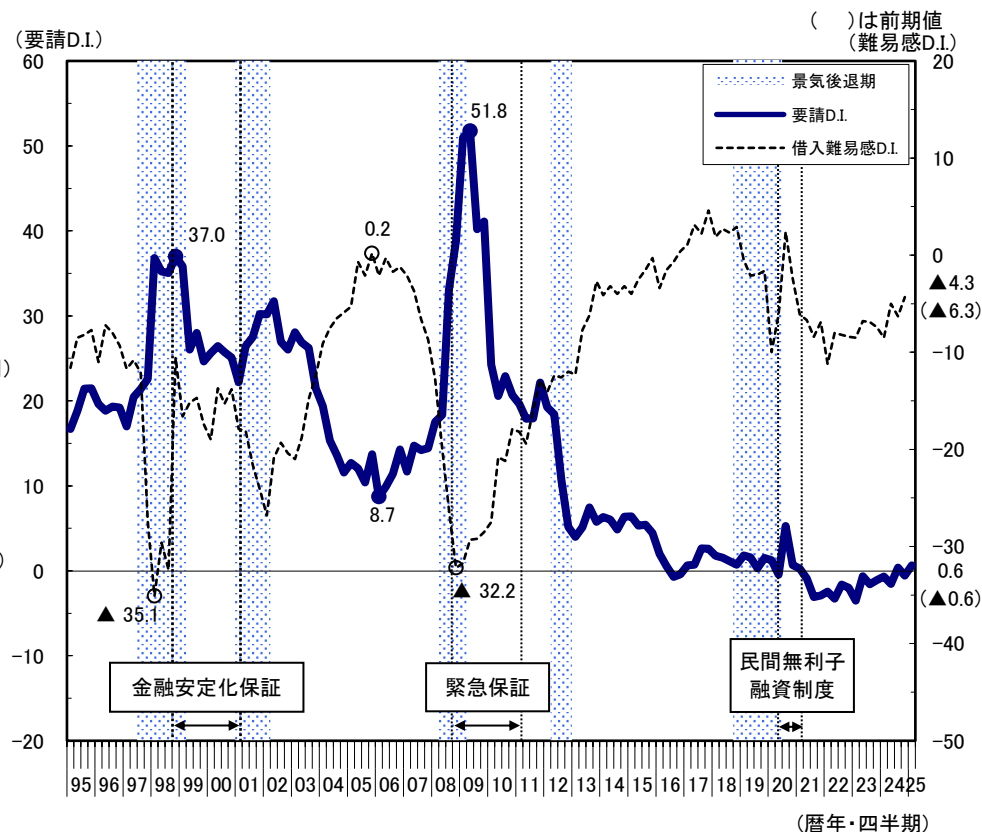
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

- ・来期(25年1～3月)における保証利用要請D.I.は、0.6とやや上昇した。

	2023/10-12	2024/1-3	4-6	7-9	10-12	2025/1-3
要請D.I. 見通し	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 1.5	0.4	▲ 0.6	0.6
借入難易感D.I. 実績	▲ 7.4	▲ 8.5	▲ 5.0	▲ 6.3	▲ 4.3	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



(5) 生産・売上

- ・生産・売上D.I.は、▲1.8と横ばいとなった。
来期の見通しについては、5.7となっている。

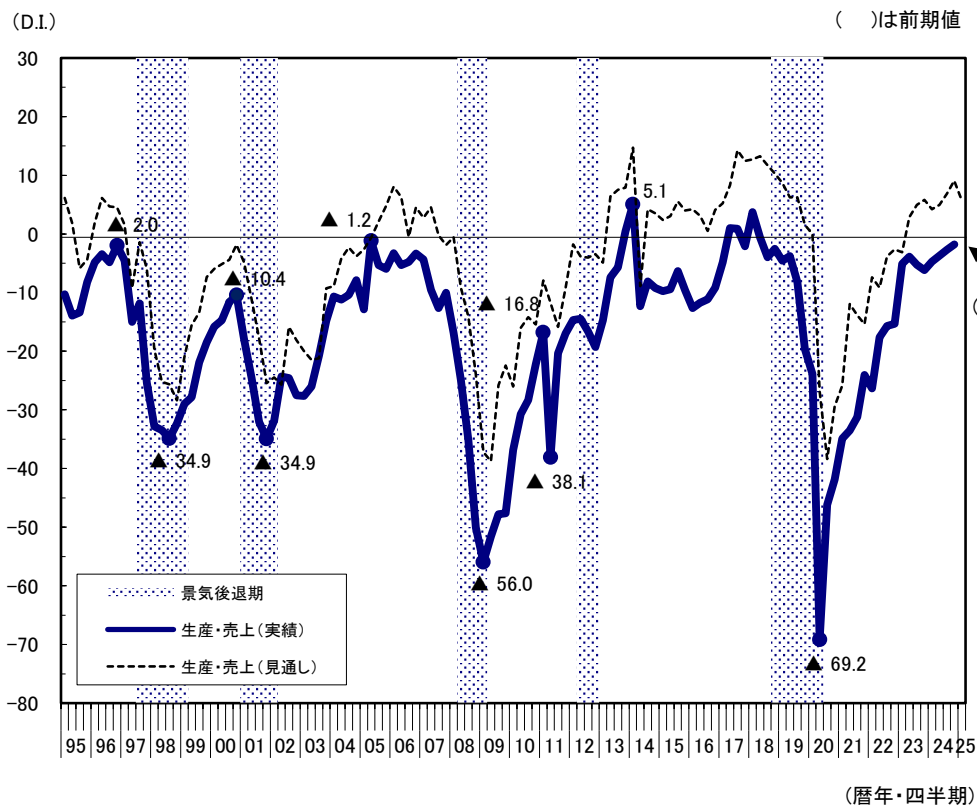
		2023/10-12	2024/1-3	4-6	7-9	10-12	2025/1-3
生産・売上D.I.	実績	▲ 6.2	▲ 4.7	▲ 3.7	▲ 2.7	▲ 1.8	
	見通し	5.8	4.2	5.0	6.9	9.1	5.7

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

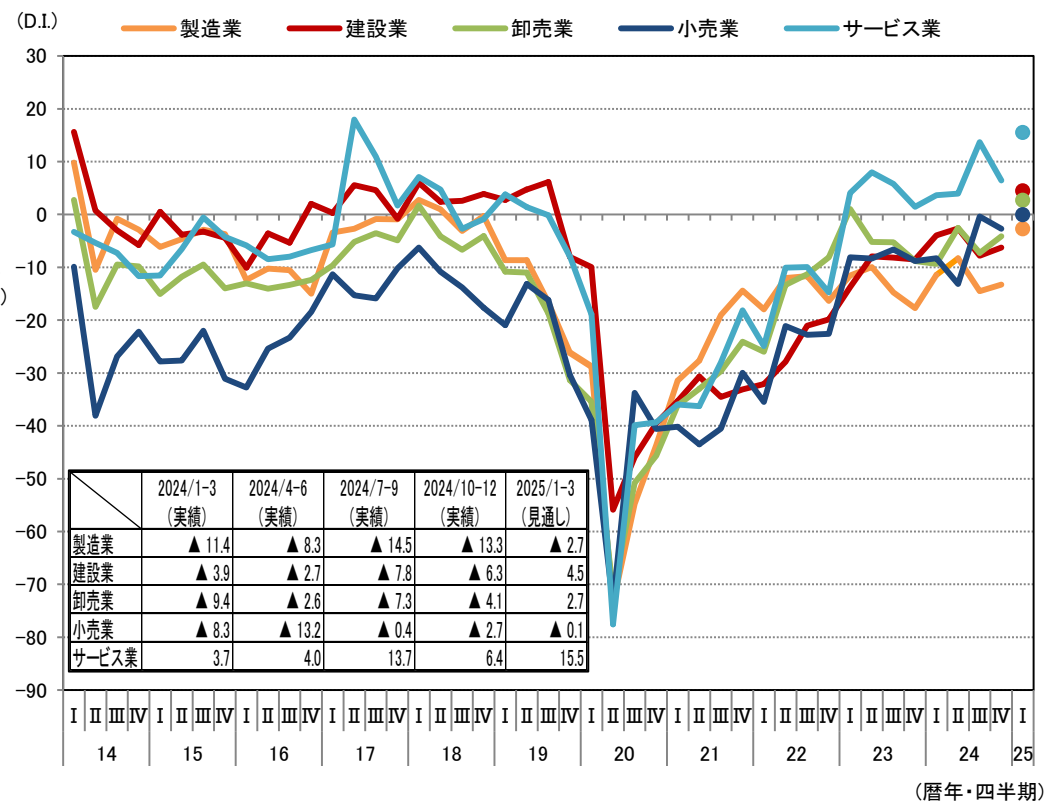
生産・売上（業種別）

- ・生産・売上D.I.(業種別)は、製造業、建設業、卸売業でマイナス幅がやや縮小した一方、小売業はマイナス幅がやや拡大、サービス業はプラス幅が縮小した。

生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



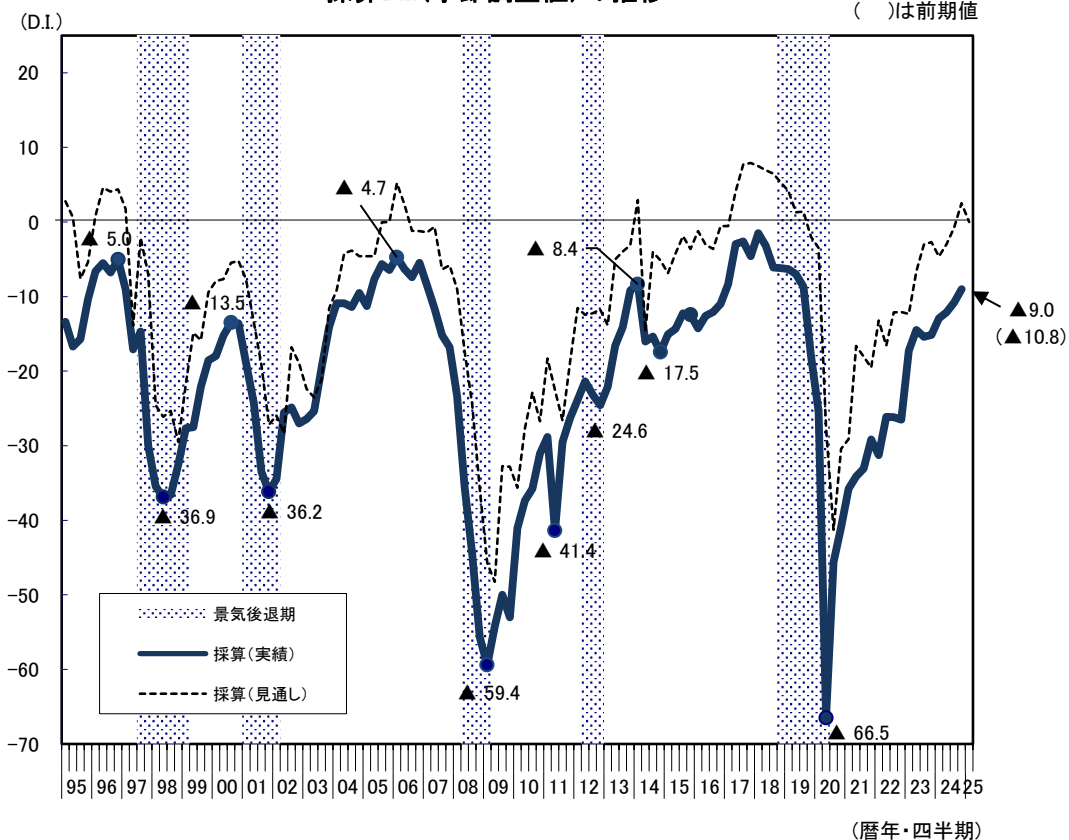
(6) 採算

- ・採算D.I.は、▲9.0とマイナス幅がやや縮小した。
来期の見通しについては、0.0となっている。

		2023/10-12	2024/1-3	4-6	7-9	10-12	2025/1-3
採算D.I.	実績	▲15.2	▲12.9	▲12.1	▲10.8	▲9.0	
	見通し	▲2.7	▲4.6	▲3.0	▲0.8	2.5	0.0

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

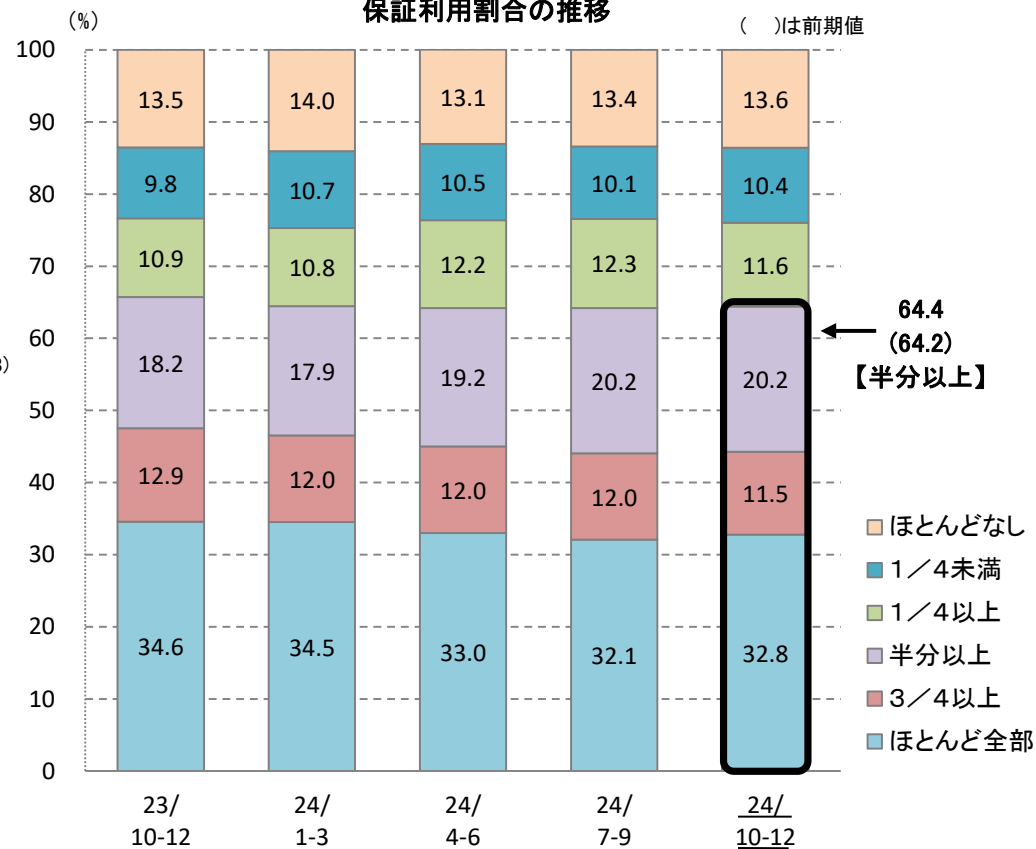
採算D.I.(季節調整値)の推移



(参考) 保証利用割合

- ・借入総残高に占める保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が64.4%となっている。

保証利用割合の推移

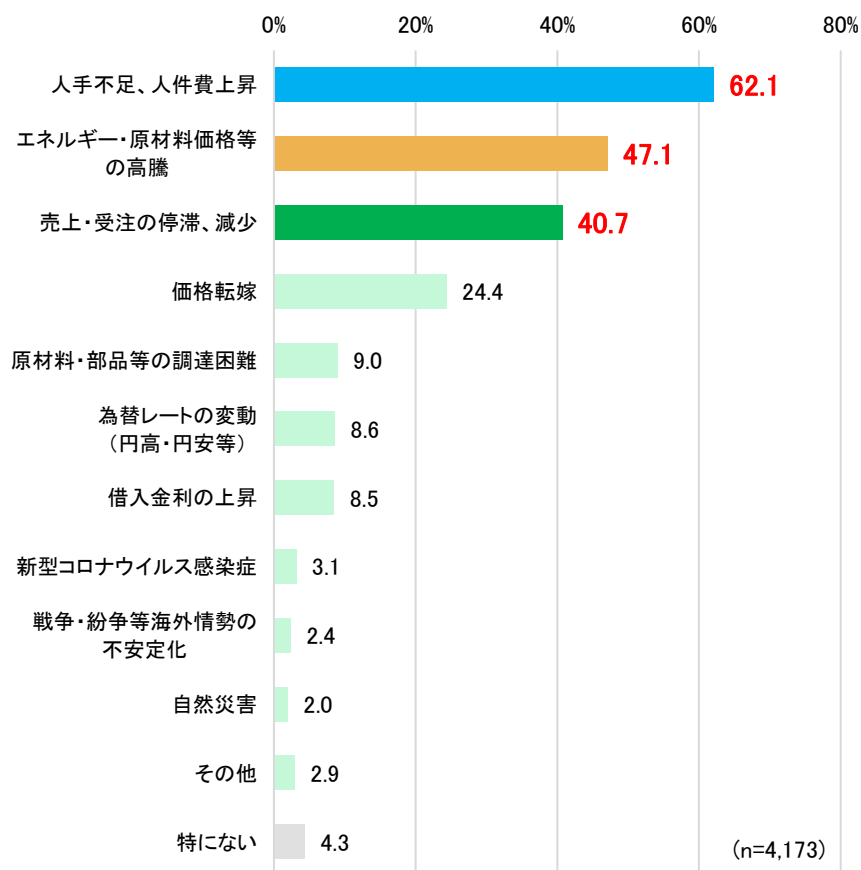


特別調査

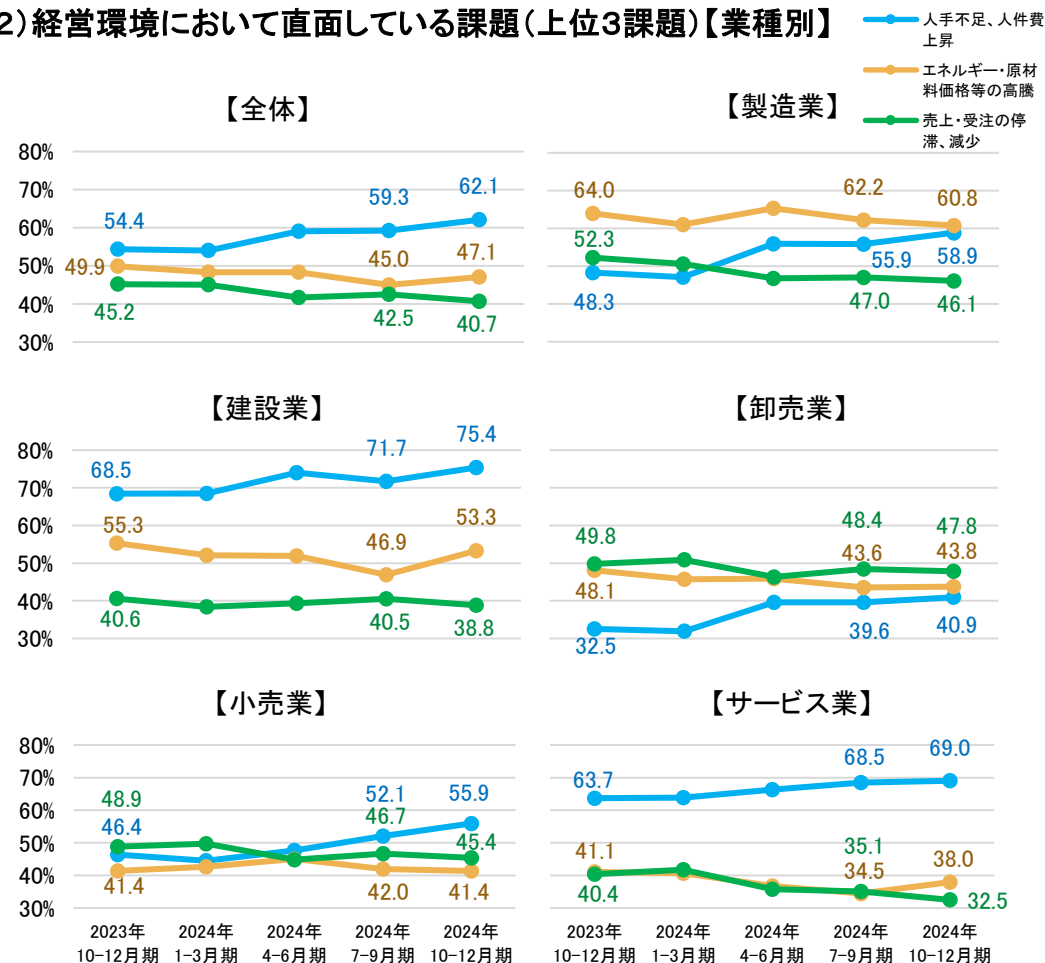
経営環境において直面している課題について

- ・2024年10-12月期の経営環境において直面している課題については、「人手不足、人件費上昇」(62.1%)が最も多く、次いで「エネルギー・原材料価格等の高騰」(47.1%)、「売上・受注の停滞、減少」(40.7%)の順となっている。
- ・業種別に課題の推移をみると、いずれの業種も前期と比べて、「人手不足、人件費上昇」が上昇し、「売上・受注の停滞、減少」が低下している。

(1) 経営環境において直面している課題



(2) 経営環境において直面している課題(上位3課題)【業種別】



(注) (1)、(2)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。